

NISHIHYOGO SHINKIN BANK 2018

●金庫の概要	1	●預金に関する指標	25
●営業地区	1	預金積金及び譲渡性預金平均残高	
●ごあいさつ	2	預金科目別残高	
●経営理念	3	預金者別残高	
●行動規範	3	定期預金残高	
●主な業務の内容	3	●貸出金に関する指標	25
●西兵庫信用金庫と地域社会	4	貸出金平均残高	
●地域密着型金融に関する取組状況	5	貸出金金利種別残高	
●金融仲介機能のベンチマークについて	6	貸出金使途別残高	
●地域社会への貢献活動	8	貸出金の担保別内訳	
一般財団法人「 にしん 地域振興財団」		債務保証見返の担保別内訳	
地域貢献		貸出金業種別内訳	
●総代会制度	9	貸出金償却	
●平成29年度の事業概況	11	貸倒引当金内訳	
預金積金		●有価証券等に関する指標	27
貸出金		商品有価証券の種類別の平均残高	
損益		有価証券平均残高	
●自己資本の充実の状況	11	有価証券の残存期間別残高	
●リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況等	12	有価証券の時価情報	
リスク管理債権の引当・保全状況		運用目的の金銭の信託・その他の金銭の信託	
金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況		満期保有目的の金銭の信託	
●お客さま本位の業務運営に関する取組方針	13	デリバティブ取引	
●内部統制システムに関する基本方針	13	●主要な業務の状況を示す指標	29
●統合的リスク管理の体制	14	資金運用収支の内訳	
信用リスク管理		受取利息・支払利息の増減	
市場リスク管理		業務粗利益・業務純益	
流動性リスク管理		諸比率・諸利回	
事務リスク管理		●自己資本比率規制の第3の柱(市場規律)に基づく開示	29
システム・リスク管理		●商品・サービスのご案内	39
●コンプライアンス(法令等遵守)の態勢	15	●手数料一覧表	41
●反社会的勢力に対する基本方針	15	● にしん のあゆみ	42
●個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)	15	●組織の概要	43
●金融商品に係る勧誘方針	16	役員一覧	
●保険募集指針	17	●子会社等の状況	43
●共済募集指針	17	●事務所の名称及び所在地	44
●利益相反管理方針の概要	18	営業地区・店舗網	
●金融円滑化に向けた取組み	18	店舗一覧	
●金融ADR制度への対応	18	店外ATMコーナー	
●貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書	19		
貸借対照表注記			
損益計算書注記			
会計監査			
財務諸表の正確性に係る内部監査の有効性の確認			

金庫の概要

■創業	昭和23年8月15日
■所在地	兵庫県宍粟市山崎町山崎190番地
■電話番号	0790-62-7701(代表)
■出資金	969,580千円
■会員数	25,764名
■店舗数	26店舗
■店外ATM	15カ所
■常勤役員数	330名
■預金量	451,894百万円
■融資量	201,191百万円

(平成30年3月31日現在)

営業地区

宍粟市、佐用郡佐用町、揖保郡太子町、たつの市、姫路市、
相生市、高砂市、加古川市、神崎郡の内福崎町、赤穂郡上郡町、
赤穂市、加古郡播磨町・稲美町、明石市、神戸市の内西区

(平成30年3月31日現在)



地域で最も信用、信頼される 金融機関をめざして



■ごあいさつ

平素は、西兵庫信用金庫に格別のお引き立てを賜り心より厚くお礼申し上げます。本年も皆様がより一層**にっしん**についてご理解いただくことを願い、当金庫の経営理念、業績、経営内容等をまとめた「西兵庫信用金庫の現況2018」を作成いたしました。ご高覧頂きますようお願い申し上げます。

さて、平成29年度のわが国金融・経済を振り返りますと、中国と欧米主要国の景気拡大に支えられ緩やかな景気回復が続き、経済全体で需要が供給を上回るなど、デフレ脱却に向けた局面変化が見られました。しかし、日本銀行は、消費者物価上昇率が目標の2%に届かなかったため、マイナス金利政策を継続する姿勢を示しました。一方、金融制度関連では、金融庁が、金融・資本市場の質の向上に向けて、「顧客本位の業務運営に関する原則」を平成29年3月に策定し公表したほか、11月には地域金融機関の経営課題に一段と踏み込んだ「平成29事務年度金融行政方針」を公表しました。また、120年ぶりに債権関係規定を抜本的に改めた改正民法が平成29年5月の通常国会で成立し、実務対応が課題となっています。

このような情勢下、当金庫は、3カ年計画「**にっしん**中期経営計画2015(独自性発揮による地域密着型金融の更なる深化と金庫の安定成長をめざして)」の最終年度として、積極的に事業推進に取り組みました結果、業容面におきましては、預金は、対前年度比で期末残高が2.5%増加、期中平均残高は2.2%増加いたしました。一方、貸出金は、対前年度比で期末残高が2.2%増加、期中平均残高は1.5%増加いたしました。損益面におきましては、リスク管理の徹底と、諸経費の節減に努めました結果、今期の業務純益は21億7千万円、当期純利益は15億円を確保することが出来ました。リスク管理債権の状況におきましては、平成30年3月末日現在で、貸出金に占める割合は4.3%となっております。しかし、そのほぼ全額を貸倒引当金あるい

は担保等でカバーしており、信用リスクは極めて低い状態です。自己資本比率も19.0%と国内基準の4%を大きく上回る水準であり、安全性を確固なものにしており、当金庫の資産内容は高い健全性を維持しております。これも偏に会員、お取引先の皆様のご愛顧、ご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

平成30年度は、政府の経済見通しによれば、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等先行きのリスクがあるものの、海外経済の回復が続くもとで、政府の経済財政運営による政策効果もあいまって、雇用・所得環境の改善が続き経済の好循環がさらに進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれています。

当金庫においては、新3カ年計画「**にっしん**中期経営計画2018(地域と共に成長する金融機関を目指して)」の初年度となります。また、当金庫の創立70周年を迎える年度でもあります。引き続きコンプライアンス意識を徹底したうえで、地域の皆様に良質な金融サービスを提供し企業活動や個人の資産形成のお手伝いをするのが、地域経済の活性化にもつながり、結果として当金庫自身も安定した顧客基盤と成長を確保することになるものと考えます。当金庫と会員、地域の皆様との絆を一層深め、最良の金融サービスを提供することにより地域社会の持続的な発展に貢献するとともに、当金庫が安定成長軌道に乗るよう、役職員一丸となって尽力し精進を重ねる所存でございます。今後とも何卒、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

理事長 **志水 宣之**